



みやまのかぜ



美山小学校ホームページ <http://www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~miyama/>

↑ブログはこちら

平和・安全な世界を願って ～新年を迎えて～

校長 猿渡 司郎

新年を迎えました。元日の能登半島地震，世界に目を向けると，なかなか終わりの見えない紛争など，痛ましい，悲しいニュースが続きます。

そのような中で，3学期がスタートし，子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。子どもたちの冬休み，年末年始の生活はいかがだったでしょうか。不安定な世界情勢を目の当たりにして，命の尊さや人権尊重の精神，他者理解（多様性や異文化理解），科学技術の向上に資する学力・探究心など様々な学びの基礎づくりとも言える小学校の役割を改めて見つめ，再確認しています。



令和6年（2024）の美山小は，次のような教育活動を展開していきたいと考えています。



- 1 美山小学校は，韓国 南原（ナムウォン）市の蛟龍（キョリョン）初等学校と，平成10年（1998）に姉妹校盟約を結んでいて，過去には相互に交流（学校訪問等）をした実績があります。今年，美山小学校創立150周年でもあることから，オンラインやはがきでの交流をしたいと思っています。交流を通して，子どもたちの視野を広げ，表現・活躍の場を創造するとともに，美山の

歴史や特色を再発見したり，韓国と日本の小学生が互いのよき・文化・生活習慣などを学んだりする機会になると考えます。

- 2 子どもたちが，「安全・安心に過ごせる学校」，「やりたいことにチャレンジできる学校」，「昼休みに仲良く楽しく遊ぶことのできる学校」だと自信をもって言えるように，子ども一人一人を主役にした，学校づくりに努めてまいります。
- 3 子どもが自分の目標を立てて，目標の実現（達成）に向けて，具体的にすること（練習や学習など，まずは1つからでも）を決めて取り組めるようにしていきたいです。メジャーリーガーの大谷翔平選手は高校生の時に「ドラフトの指名をもらう」ために，図1のような表（次ページ）を使って，具体的にすることを決めて実行しました。子どもたちには，自分のできることから始めてほしいです。そして，友達のがんばっていることを互いに応援し合えるようになってほしいです。



今年一年が，皆様にとりまして龍のごとく飛翔の年になりますよう祈念申し上げます。職員一同よろしくお願いたします。

(資料)

図表1 大谷翔平 (高1当時) が書いたオープンウィンドウ64

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールを叩く	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事夜7杯朝3杯	下肢の強化	↑ 体を開かない	メンタルコントロールをする	↑ ボールを前でリリース	回転数アップ	可動域
はっきりとした目標、目的を持つ	一喜一憂しない	頭は冷静に心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	↑ 雰囲気流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km	→ 体幹強化	スピード 160km	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナーキャッチボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	↓ 計画性	あいさつ	↑ ゴミ拾い	↑ 部屋そうじ	↑ カウントボールを増やす	フォーク完成	スライダーのキレ
思いやり	人間性	感謝	↓ 道具を大切に扱う	運	↑ 審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	↑ プラス思考	↓ 応援される人間になる	↑ 本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

■：第一の目標 ■：達成に必要なこと×8

(3年間で16枚書いた中の、最初の1枚)

■：各々の■に必要なこと×8



おひさま学校給食週間 (1月22日~26日)

1月の給食便りで紹介されている「おひさま学校給食週間」。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に、昭和21年(1946)に米国から給食用物資の寄贈を受け、同年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われました。それ以来この日を学校給食感謝の日と決めました。(昭和22年1月から学校給食が再開)昭和25年度からは、冬休みと重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。



美山小学校では、地域の窯元の方々のご支援のもと、「お茶碗給食」を月1回、年間を通して実施しています。食材となる動植物への感謝、調理・運搬してくださる給食センターの方々への感謝、そして、食事の礼儀作法・マナーをお茶碗給食を通して学ばせていただいています。これからも、美山小で給食をいただけることの感謝を味わいながら、給食の時間を大事にしていきたいと思ひます。

